

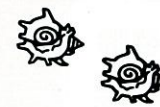
マンボウガイ

分類：中腹足目 トウカムリ科(腹足綱)

学名：Cypraeacassis rufa

英名：Red helmet

太平洋および印度洋の亜熱帯から熱帯海域にかけての10cm以浅のところに生息する。殻は大型で15cm位、重厚堅固、螺塔は極めて低い。背面はイボ状の突起のある4条の螺肋があって、肋間には細かいヒダが見られ、濃褐色と乳白色の不規則な雲状の斑紋がある。殻口面は三角形で、殻口の滑層は厚く広がり橙紅色。内唇縁はヒダが多く、外唇は淡褐色の帯状の模様があって、外唇内縁の歯状のヒダは白色。水管は深く切れ込む。殻は各層により色彩が異なり、ギリシャ時代からカメオ彫刻の材料として利用され、カメオはイタリア名産品の一つ。科名のトウカムリは、唐冠の意である。



マンボウガイ



フグリ ウラシマ
Cy. testiculus



ドイトウ トウカムリ
Cassis tuberosa



カエン トウカムリ
Ca. flammea



トウカムリ
Ca. cornuta



モザイク トウカムリ
Ca. tessellata



カエン トウカムリ

TERRITOIRE FRANÇAIS
DES AFARS ET DES ISSAS

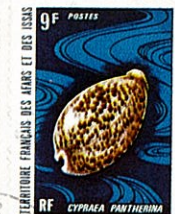


Cypraea pantherina



Cypraeacassis rufa

PREMIER JOUR D'EMISSION



20F マンボウガイ *Cypraeacassis rufa* 中腹足目 トウカムリ科
9F ヒョウダカラ *Cypraea pantherina* 中腹足目 タカラガイ科